

他の専門部会への提案等について

【提案】（企画部会案件）

	提案元		提案先	内 容	
1	健康長寿・地域共生社会部会	▶	未来を拓く人づくり部会	提案の概要	・ 幼少期からの生活習慣が自分や家族等の周囲の健康に影響を与えるため、健康教育は非常に重要である。全ての子どもたちにタブレットが支給されたが、こうしたツールを積極的に活用して、健康教育を進めてはどうか。
				県の取組状況	（教育庁） ・ 各学校では、学習指導要領に基づき、子どもたちの実態を踏まえて、健康に関する指導を行っている。本県の子どもたちの状況として、肥満傾向児童の割合が全国平均よりも高く、毎日朝食を食べる割合や朝すっきりと目が覚める割合にやや課題が見られる等の調査結果も出ており、子どもたちの望ましい生活習慣の定着が非常に重要である。 ・ 生活習慣と食育には深い関係があり、学校全体で食育に取り組む必要性を浸透させていきたいと考えているため、管理職や栄養教員に対する研修会を実施しているほか、健康福祉部との連携により、食育に関する情報を学校に発信する取組も行っている。食育を一つの切り口として、健康習慣を見直し、健康に生活していくことができるよう、健康教育の充実に引き続き取り組んでいきたい。 ・ タブレット端末については、現在は保健体育や総合的な学習の時間に、主に情報収集のツールとして活用している。今後は、ＩＣＴ端末を効果的に活用し、例えば子どもたち自身の健康状態の数値化や、保健・医療機関の専門分野の方との連携によるオンライン授業の実施など、様々な方法を用いて健康教育の充実に向けて取り組んでいく必要があると考えている。
				部会長の見解	・ 未来を拓く人づくり部会でも、健康教育は非常に重要であると認識しており、今後ますます推進していく必要があると考えている。 ・ タブレットを使った健康教育については、今は子どもたちに行き渡ったばかりで、どのように活用していくか、各学校で試行錯誤しているところである。今後端末の活用が進む中で、例えば、減塩を進めるために、どの食べ物にどれくらい塩分が含まれているかをクイズ形式にするなど、子どもたち自身が楽しみながら学んでいくような形ができたら、健康教育もより進んでいくのではないかと考えている。 ・ 今後の健康教育に関するコンテンツ開発等が期待されるが、健康教育については、重点的に取り組んでいかなければならない課題として部会の中で検討していきたい。

【情報提供】

	提案元		提案先	内 容	
1	健康長寿・地域共生社会部会	▶	ふるさと定着回帰部会	・ 少子化が進んでいるが、産めない原因がどこにあるのかについて調べてみてはどうか。また、望まない妊娠をしても産み育てられる環境を作っていくべきではないか。	
2	健康長寿・地域共生社会部会	▶	ふるさと定着回帰部会 未来を拓く人づくり部会	・ 介護施設の訪問など、高齢者等との触れ合い活動についても、目に見える形で子どもたちが評価される仕組みづくりができないか。	
3	健康長寿・地域共生社会部会	▶	産業振興部会	・ 子育て世帯が食生活の改善や口腔ケア等にも配慮できる時間を確保できるよう、秋田県内の企業における時差出勤等の取組を促進してほしい。	
4	産業振興部会	▶	健康長寿・地域共生社会部会	・ 医療福祉分野は、日々の業務に追われてＩｏＴ技術の導入に関心が行き届いていないと考えるので、そうしたところにも届く支援が必要なのではないか。	